

自治会活動 参加レポート



No.19 仲原東自治会

「餅つき大会」

(平成29年12月10日実施)

冬の寒さにも負けないくらいの晴天に恵まれたこの日、仲原東自治会「餅つき大会」が開催されました。

仲原東自治会は、仲原1・2丁目、および3丁目地域の一部からなる、125世帯で構成された自治会です。こちらの自治会は、昨年結成30周年を迎えました。餅つき大会はその当時から行われているそうです。

会場である仲原集会所近くに到着すると、何やら煙が上がっており、大きく威勢の良い声が響いています。そう、その正体は餅米を蒸している煙と、自治会員の方々が臼、きねを使ってお餅をつく「よいしょ〜!」という掛け声だったのです。また、驚いたことに会場には、既に老若男女たくさんの方々が集まっており、賑わいを見せています。親子で参加している方々も多く、子どもたちがたくさんその場にいることで活気が出ていました。



▲子どもたちも積極的に参加しています！

自治会長へ、多くの方が参加している理由についてお伺いしたところ、広報に力を入れているとのことがありました。具体的には、餅つき大会当日の朝、スピーカーをつけた車で地域を回ったり、事前に掲示板へカラーポスターを貼る等、行っているとのことでした。また、イベントには、自治会に加入していない方も自由に参加できる

ようにしていることも大きな理由の一つであるとお話されていました。やはり、多くの方々が参加している裏には、多くの努力があるのだなと強く感じました。イベントをただ実施するだけではなく、多くの人へ知ってもらうことで、新たな出会いや新規に自治会へ加入していただくきっかけをうまく生み出しているのではないのでしょうか。



ありがとう!」、「お餅いっぱいあるから食べていってね!」といった声がけを積極的に行っていました。当日取材に伺った私たち職員に対しても、大変気さくに、あたかも自治会の一員ように接していただき、大変心暖まりました。餅つきも実際に体験させていただき、取材で来ていることを忘れるほど楽しませていただきました。



▲仲原東自治会 竹内会長



餅つき大会取材させていただいている最中、何度も実感したことは、仲原東自治会では、人と人とのコミュニケーションが活発に行われているなということです。イベントに足を運んでいる方々同士で「どうも! この間はあ

「地域での人と人のつながり」。今回の取材を通して、改めてその大切さを学ぶことができました。日頃から世代を越えて積極的にコミュニケーションを取ることで、若い世代が地元を好きになり、後の後継者に育っていくのではないのでしょうか。また、困った時に気軽に声を掛け合い、助け合える関係を作っているからこそ、今回のような雰囲気の良いを作り出しているのではないかと思います。

仲原東自治会（当時は仲原1・2丁目自治会）を立ち上げた、当時の会長ともお話をさせていただく機会があり、「自慢の自治会です」とおっしゃっていたのが印象的でした。人の心の温かさを終始感じることができる、すばらしいひと時でした。

餅つきギャラリー



むす



こねる



つく



できあがり



あじつけ



のびる

～おまけ～

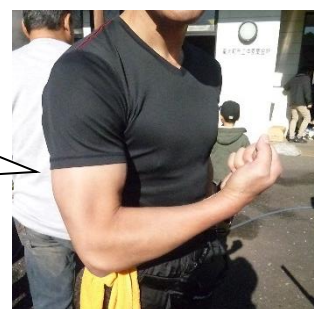


豚汁も振舞われました！
冬の日には最高です

取材班も飛び入り参加。レクチャーを受けながらも腰が引けてます・・・(笑)



これぞ、ちから餅



自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所地域振興課市民協働係までお問合せください。

電話：042-563-2111（内線1711、1716）

FAX：042-563-5931